

北見市における景気動向調査報告書

< 第 I 四半期 >

北見商工会議所

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成17年7月9日

(2) 調査対象期間 平成17年4月～6月期実績および平成17年7月～9月期見通しについて調査した。

2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	30社	17社	56.7%
建設業	30社	23社	76.7%
卸売業	30社	22社	73.3%
小売業	35社	14社	40.0%
サービス業	25社	12社	48.0%
合計	150社	88社	58.7%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

Ⅱ．概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成17年度第Ⅰ四半期<4月～6月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」10.3、「悪化企業」51.1、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△40.8となっています。このD・I値を前期調査<16年度第Ⅳ四半期>と比較してみると前回△37.8→今回△40.8と3.0ポイント悪化、「好転企業」が7ポイント減少、「悪化企業」が4ポイント減少しており、前期調査との比較では依然として悪化傾向を示しています。また、前年同期比（△28.9）との比較でも、11.9ポイント悪化しており、前期では小幅ではあるが回復傾向を示していたもののここに来て再び悪化、数値も高く厳しい状況にあります。

今回の業況を業種別で見ると製造業D・I値△35.2、建設業D・I値△39.1、卸売業D・I値△31.9、小売業D・I値△35.7、サービス業D・I値△75.0となっており、前年同期調査と比較すると卸売業についてはほぼ同じ、他の業種については悪化傾向を示しており、特に建設業は30.0ポイント悪化と全体的にも厳しい状況にあります。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」8.0%「悪化企業」54.5%でD・I値△46.5と、前年同期見通し（△34.6）に比べ11.9ポイント悪化しており、暗い来期見通しとなっています。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生産高

前年比で「増加企業」18.8%、「減少企業」37.5%、D・I値△18.7と前年同期に比べ9.8ポイントと好転、前期調査との比較でも19.1ポイント改善、順調な回復傾向がうかがえます。

採 算

前年比で「好転企業」11.7%、「悪化企業」47.1%、D・I値△35.4と前年同期に比べ2.1ポイントの悪化、また、前期調査との比較では12.5ポイント改善しており回復傾向にあります。

来期見通し

業況D・I値△29.5、生産高D・I値△23.5、資金繰りD・I値△17.6と、前年同期に比べすべて大幅な改善傾向を示しています。前期調査との比較でも生産高D・I値は1.7ポイントの悪化ですが他のD・I値は改善傾向にあり、明るい兆しが見えてきている来期見通しとなっています。

2) 建 設 業

完成工事高

前年比で「増加企業」13.0%、「減少企業」56.6%、D・I値△43.6と前年同期に比べ43.6ポイントの大幅な悪化傾向を示しているが、前期調査との比較では2.3ポ

イントと僅かではあるが改善傾向を示しており、少し明るい兆しが見えつつあるものの依然として厳しい経営環境となっています。

採 算

前年比で「好転企業」0%、「悪化企業」60.9%、D・I値△60.9と前年同期に比べて29.1ポイントの大幅な悪化傾向を示しており、前期調査との比較でも19.3ポイントの大幅な悪化傾向を示しており、長引く景気低迷の中引き続き暗い状況となっています。

来期見通し

業況D・I値△47.9、完成工事高D・I値△50.1、資金繰りD・I値△39.1と前年同期と比べ資金繰りD・I値以外は大幅な悪化傾向を示しているが、前期調査との比較では逆に資金繰りD・I値以外は改善傾向を示しており、厳しい中にも一部明るい兆しが見える来期見通しとなっています。

3) 卸 売 業

売 上 高

前年比で「増加企業」18.2%、「減少企業」50.0%、D・I値△31.8と前年同期と比べ5.8ポイントと悪化傾向を示しており、また、前期調査との比較でも2.7ポイントの悪化傾向を示しており、依然として厳しい経営環境となっています。

採 算

前年比で「好転企業」9.1%、「悪化企業」40.9%、D・I値△31.8と前年同期に比べ7.4ポイント改善傾向を示しておりますが、前期調査との比較では23.8ポイントと大幅な悪化傾向を示しており、暗い状況となっています。

来期見通し

業況D・I値△50.0、売上高D・I値△45.5、資金繰りD・I値△13.6と前年同期に比べすべてのD・I値が悪化傾向を示しており、特に業況D・I値は41.3ポイントと大幅な悪化傾向を示しています。前期調査との比較では資金繰りD・I値は回復傾向を示していますが他は10ポイント以上の悪化傾向を示しており、引き続き厳しい来期見通しとなっています。

4) 小 売 業

売 上 高

前年比で「増加企業」14.3%「減少企業」50.0%、D・I値△35.7と前年同期に比べ10.7ポイントと悪化しており、前期調査との比較でも5.7ポイントと悪化傾向を示しており、前回の回復の兆しがあったものの再び厳しい経済環境となっています。

採 算

前年比で「好転企業」15.3%「悪化企業」46.2%、D・I値△30.9と前年同期に比べ15.9ポイントと大幅な悪化となっており、前期調査との比較では14.1ポイント

と改善傾向を示しており、少し明るい兆しが見える経済環境となっています。

来期見通し

業況D・I値△57.2、売上高D・I値△49.9、資金繰りD・I値△28.7と前年同期と比べ資金繰りD・I値はほぼ同じ状況ですが他は大幅な悪化傾向を示しており、前期調査との比較でも同様の結果となっており、数値も高く依然として厳しい来期見通しとなっています。

5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」0%、「減少企業」66.7%、D・I値△66.7と前年同期に比べ0ポイントと同じ状況、前期調査との比較でも0.1ポイントの悪化とほぼ同じ状況を示しておりますが、依然として数値は高く厳しい経済環境となっています。

採算

前年比で「好転企業」8.3%、「悪化企業」66.7%、D・I値△58.4と前年同期に比べ6.0悪化傾向を示しておりますが、前期調査との比較では21.5ポイントと大幅に改善されており、売上高は厳しい状況にあるが採算については改善されています。しかし、依然として数値は高く経済環境は厳しい状況にあります。

来期見通し

業況D・I値△49.9、売上高D・I値△49.9、資金繰りD・I値△41.7と前年同期に比べすべて改善傾向を示しており、前期調査との比較でも同じ状況で特に業況D・I値は30.0ポイントと高い改善傾向を示しており、明るさの見える来期見通しとなっています。

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 件 費 増	人 材 不 足
建 設 業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 件 費 増	人 材 不 足
卸 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増
小 売 業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増
サービ業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 件 費 増	資 金 調 達 困 難
合 計	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 件 費 増	人 材 不 足

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。